

令和5年度事業計画書

2023. 3. 17

(2023年4月1日～2023年12月31日)

I. 事業計画概要

本年度は長きに渡った新型コロナウイルス感染症もようやく峠を越え、国際間の交流もより活発化すると思われまふ。しかし現状を振り返ると、公益財団法人美術工芸振興佐藤基金の目的である「美術工芸を通じて国際間の相互理解の推進と我が国文化の発展に寄与する」ことが、これまで以上に求められる年であると思ひます。

今年度は石洞美術館においては、美術工芸の魅力の更なる発信を行うとともに、地域の方々と連携して文化の発展に寄与する事業を行っていきまふ。

また、美術工芸の創作、研究に対する助成事業及び表彰事業も行って参ります。

II. 事業毎の実績と計画

1. 地域との連携

a. 2024年10月24日に石洞美術館展示室内で、ミュージアムコンサートを開催する計画です。

b. 足立区主催で「伝統工芸日本金工展」開催中（5月28日日曜日予定）に日本工芸会金工部会より講師を招き、金属工芸の講演会を開催する予定です。

2. 美術工芸等に関する資料の収集、保存、調査研究、展示及びそれらの資料を活用した事業

a. 石洞美術館での展覧会

2022年5月21日～6月12日「第50回伝統工芸日本金工展」を開催しました。今年も「第51回伝統工芸日本金工展」を2023年5月20日～6月8日に開催します。「伝統工芸日本金工展」は公益社団法人日本工芸会との共催の展覧会で、当面は毎年、石洞美術館で開催させてほしいとの強いご要望が、公益社団法人日本工芸会よりあり、引き続き開催する事になりました。

「朝鮮のやきもの」の展覧会を2022年8月27日～11月27日で開催しました。

「古染付展」2023年1月15日～3月31日古染付 Part I を開催しております。また、2023年9月1日～11月30日古染付 Part II を、2024年1月16日～3月31日古染付 Part III を開催致します。

古染付 Part I では 80 件 178 点を展示しましたが、一度にすべて展示することはできませんので、3 回に分けて展示会を開催致します。古染付は 192 件 506 点を所蔵しております。

b. 広報活動

美術館・博物館共通割引入場券「ぐるっとパス」には 2010 年頃より参加しており、多くの方が入館されました。

2023 年 4 月 1 日より参加し、美術館・博物館に興味を持っている人が来館するきっかけにします。「ぐるっとパス」に参加の都内近郊の美術館・博物館は 101 カ所あります。

c. 資料の収集

2022 年は坂倉新兵衛の「呼友茶盃」、坂倉正紘の「茶盃大道粉引」を購入しました。2023 年 2 月には坂倉新兵衛の「坐忘斎御家元御書付茶盃」を購入しました。魅力ある展示を行って行く為、資料収集方針にしたがって、資料収集を行います。

3. 美術工芸等の創作活動、調査研究及び普及活動に対する助成及び表彰事業

(1) 助成事業

2022 年は松島さくら子氏「アジア漆の造形と祈り展」に 50 万円
佐々木類氏「北陸の天気をテーマとしたガラスでの表現研究」に 22 万円の助成
を行いました。

2023 年は下記の研究に対して助成を行う予定です。

a. 板谷寿美 「張成造」銘を持つ作品を中心とした彫漆作品の銘・文様・漆層
等の基礎的研究 助成金額 60 万円

b. 竹田多麻子 ウズベキスタン ブハラ・オアシス出土ガラスの調査研究
助成金額 140 万円

c. 中谷 裕 北海道陶芸会 55 周年記念 陶・北の時代発表会 助成金 20 万円

(2) 表彰事業

淡水翁賞（若手金属芸術作家奨励賞）

上田剛氏が最優秀賞に選ばれました。小嶋崇嗣氏と内田望氏が優秀書に選ばれ、
2023 年 3 月 17 日に表彰式を行います。